

地域の「やってみたい」を応援する情報誌

みんな

つぎの巡回日
6月15日

四街道市

図書館に行こう

誰にでも開かれた場所「図書館」。
この図書館の役割やあり方が多様化しています。
今号では市内いくつかの図書館を取材し、地域の中で
図書館に望まれる姿について考えてみました。

地域づくり
みんな
四街道市
センター

図書館の

さまざまなかたち



子どもの頃から慣れ親しんでいる図書館。本を読んだり、借りたり、司書による調べものの相談サービスが利用できる場所です。四街道市立図書館は1983年（昭和58年）7月1日に開館しました。

コロナ禍であっても、本はさまざまに世界観や夢へ私たちをいざなってくれます。今号では、本と人をつなぐ場所としての「図書館」の可能性について考えてみました。

「知ること」で生活に潤いを

5月下旬、日曜日の早朝、たろやまの郷で「旅する蔵の図書館 鳥のさえずり観察会」が行われました。吉岡地区にある蔵の図書館の開館5周年記念イベントの一つです。

講師は、元編集者の和田信裕さん。参加者は屋外に並べられた科学の本や図鑑を携え、初夏の風の中、観察を楽しみました。鳥や昆虫を本で調べることで知識が深まり、意外なことで知ることができます。こんな時間の使い方こそ生活に潤いをもたらすのでは、と和田さんは話します。

蔵の図書館ではこれまででもイベントを提供し、人々が「本」でつながってきました。「地域を元気にする場」として存在することが、開館当初からの願いです」と館長の高山理恵さんは言います。

スタッフの安井広子さん（上写真左、右は根本昭子さん）は、来館者との何気ない会話を大切にし、この図書館が心地よい場所になるように工夫を重ねています。そのために開館日以外は精力的に市内外の本に関連のある場所を訪ね、自身の見聞を広げています。

本と夢を乗せて走ります

四街道市立図書館が運営する移動図書館「ドリーム号」。図書館に出かけづらい市民にも、本の楽しみを味わってもらおうと、隔週または4週間ごとに幅広いジャンルの本約一六〇〇冊を積んで市内の高齢者施設や集会所など23か所の拠点を回ります。

拠点のひとつ、高齢



ドリーム号を心待ちにする
高齢者施設の利用者



蔵の図書館



移動図書館「ドリーム号」
(四街道市立図書館 HP)

者施設ではドリーム号の到着前からそわそわと玄関で待っている利用者が何人もいました。コロナ禍の施設生活で、人との交流が少ない高齢者にとって、移動図書館のスタッフは2週間に一度の楽しみを運んでくる貴重な存在です。「毎回楽しみにしているよ。友達みたいに楽しくおしゃべりしてくれるし」。

一方、ドリーム号スタッフの司書柴田みなみさんは、仕事が本当に楽しそう。行先に応じて、「今度あの人にこの本を勧めよう」という視点で載せる本を選んでいくそうです。

ドリーム号は、今日も利用者の夢を乗せ、地域と本を結びながら走ります。

地域でつくる 学校図書館



四街道市立四和小学校



業間休みでも学校図書館に本を読みにくる子どもたち

業間休みのチャイムが鳴ると、走り込むようにやってくるたくさんの子どもたち。みんな思い思いの本を手に取り、好きな場所で読書を始めます。

四和小学校図書館司書の白濱咲苗さんは「ここは地域の皆さんと共につくっているみんなの図書館です」と話します。

入り口はかわいい展示物で囲まれ、図書館に来る児童を明るく迎ええます。館内も、手作りのいすカバーやブックエンドなどであふれています。地域コーディネーターや図書館ボランティアの活躍で、子どもの読書の環境が整えられています。

先生方の関心も高く、子どもたちが本に親しめるような工夫を重ねています。読み聞かせは、低学年から授業の中で必ず取り入れているそうです。

白濱さんも子どもたちの学習の教材になればと地域の情報誌などを図書館に配架しています。児童一人ひとりの読書記録の制作と保護者への配布、文字が読みづらい子を意識した「リーディングトラッカー」の制

作などで児童の読書率をアップさせ、学習と読書の両輪で子どもたちの成長を促したいと考えています。

四和小学校の子どもたちに人気の係は、もちろん「図書委員」。本の貸し出しや修繕など積極的に活動しています。自分のお気に入りの本をみんなに紹介するためのポップ作りや、「えほんはしっかりとものいちにもどしてください」という貼り紙をするなど、委員の子どもたちが自ら発信しています。

図書館の可能性

今回ご紹介した図書館はどこも人の賑わいがある「静かではない図書館」でした。

蔵の図書館では、ワークショップを開催することで新たな出会いや価値観を提案していました。移動図書館は、新たな本に出会うワクワク感と夢を利用者に届けるために、市内を走り回っています。四和小学校では、地域、学校、先生と一緒に図書館をつくることで、子ども達は主体的に学び、確かな成長を遂げています。

図書館での知識や価値観との出会いは、自分の世界を大きく広げてくれます。そして、心の中に芽生えた「やってみよう」という気持ちを形にするための原動力になるのではないのでしょうか。

図書館は今、情報を得るだけでなく、人と人をつなぎ、地域を元気にする場へと変化し、心豊かな生活を創造する場にもなっているのです。

図書館は楽しい。

自分らしく過ごせる場、同時に大きな可能性を秘めた場所が、地域に広がり、訪れる人がどんどん増えていくことを期待しています。



司書の白濱さん。地域の皆さんの愛情いっぱいの図書館入り口で

白濱さんは、本を通じた活動の中で、みんなのやりたいことを後押しできる、そんな図書館でありたいと願っています。

ピックアップ

みんなで子育て講演会

「学校に行きたくないと言われたら」



NPO法人こころね

<https://cocorone-chiba.jp/>

みんなで地域づくりセンターでは、これまで「子ども見守りサポーター養成講座」として、学びの機会を提供してきました。今回は「学校に行きたくないと言われたら」と題した講演会を7月13日に行い、市内外の保護者や子ども支援に関心を持つ27人が参加しました。

講師は、千葉市で活動される「NPO法人こころね」理事長の白尾藍さん。フリースクールやプレーパーク、相談窓口の運営のほか、「千葉市教育確保の会」を立ち上げ、千葉市教育委員会との意見交換やフリースクール見学など行政との交流にもご尽力されています。講演では、不登校の現状について話され「不登校は困った問題」というメガネを外して子ども達を見てほしい、と訴えかけました。不登校には段階があり、それは自分を知

るプロセスともいえること、また多様な学びの実例や進路があることなどもお話しいただきました。

講演後の意見交換では、自らの取り組みを紹介する人、支援活動を応援したいと声を上げた人もいました。学校に通っていてもそうでなくても、子どもたちが自分らしく安心して学べる場があり、自信を持って社会的自立ができる仕組みづくりが必要で、そのためには市民の力が不可欠です。

センターでは今後も市民のみなさんとの話し合いの場をつくり、講演で出されたご意見や子ども支援の活動状況について関係部署とも共有し、地域全体で子どもたちを支えるため連携を図っていきたいと思います。

ピックアップ

第22回自治会情報交換会

「コロナ禍における自治会活動の現状と課題解決のために」



6月30日、3年ぶりの自治会情報交換会を開催しました。参加者は25の区・自治会の会長ほか32人（うちオンライン参加1人）。会の目的は、自治会の状況や運営方法について互いに情報・意見交換し、その中から出たヒントなどを自らの自治会運営に役立てていただくことです。

前半の事例報告では、千代田中学校地区支えあい「チーム千代田」のZoomを利用したコロナ禍での活動事例を紹介しました。会員すべてを対象に活用を進めることは難しくとも、役員同士の日々の連絡や、小さな会合・会話、そして実際の参加者とオンラインでの参加者の併

用方式は、有効な手段と思われる。

後半の情報交換では、多くの自治会が高齢化とそれに伴う自治会運営の担い手不足の問題がコロナ以前より一層深刻な状況になっていることが明らかになりました。さらに自治会の内部的なつながりはもとより、他自治会や社会福祉協議会などの関係諸機関・団体とのつながりも以前より希薄になったように感じました。

これからもセンターでは、自治会の抱える課題解決の糸口として自治会同士、自治会と関係諸機関や団体とのつながりをサポートします。また、オンライン導入の希望などありましたら、センターにご相談ください。

お知らせ

講演会

「認知症になってもともに暮らせるまちづくり」

5人に一人が認知症になるといわれる時代。高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域としてどのような取り組みをするとよいのか、実例を通して考えます。

講師：大山一志さん（東京情報大学看護学部助教）

日時：9月20日（火）9時30分～11時30分

会場：四街道市文化センター 201号室

参加費：無料

定員：30人

お申し込みは電話、またはメールにてご連絡ください
電話：043（304）7065
メール：info@minnade.org

みんなで33号

表紙の写真：地域の皆さんに本と夢を届ける「ドリーム号」のスタッフ、柴田さん（左）と多田さん（右）

編集・発行：四街道市みんなで地域づくりセンター（四街道市政策推進課分室）

所在地：四街道市大日396 四街道市文化センター1階

開館日時：火～金および第1・3土 9：00～17：00

（休館日は日・月・祝日と第1・3以外の土および年末年始）

電話：043（304）7065 メール：info@minnade.org

発行日：令和4年9月1日 発行部数：5,000部

ホームページ



Facebook

